

令和7年度 松戸市定着支援研修会及び第2回就労移行支援事業所との意見交換会

日 時	令和8年 3月13日(金) 15:30~17:40		
会 場	松戸市民会館 301 会議室		
参加対象	松戸・流山圏域就労移行支援事業所	参加人数	参加：18 事業所 26 名 松戸就労ネットワーク 4 名 ビック・ハート松戸職員 5 名
参加費	無料		
実施機関	主催：障害者就業・生活支援センター ビック・ハート松戸 共催：松戸就労ネットワーク、松戸市障害福祉課		
内 容	<p>テーマ『地域で考えよう～より良い定着支援とは～【生活編】 ひとりで悩まないで！生活支援が必要な方の事例検討会』</p> <p>① 情報提供：生活支援の具体的な流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹相談支援センターについて 小金基幹相談支援センターおんぷ 三田様 ・ 障害者グループホームについて 松戸圏域障害者GH等支援ワーカー 小林様 <p>② グループディスカッション(6グループ)：生活面のサポートが必要な方の事例検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例①基幹相談：ディーキャリア新松戸 野本様 ・ 事例②グループホーム：Pinto 阿部様 		
当日の様子	<p>今回の研修会では、より良い定着支援を実現するための土台として、生活支援の具体的な流れを再確認することが重要であると考え、生活面のサポートに焦点を当てました。</p> <p>まず、地域における核となる関係機関の役割について理解を深めるため、松戸市小金基幹相談支援センターおんぷの三田様、およびNPO法人LIFACTえるあいサポート(松戸圏域障害者グループホーム等支援ワーカー)の小林様にご登壇いただき、現場目線での情報提供をいただきました。続いて、ビック・ハート松戸の名越より、これらの関係機関と就業・生活支援センター(ナカボツ)がどのように連携しているのか、役割と実際の関わり合いの事例を交えて説明しました。</p> <p>その後は6つのグループに分かれ、生活面のサポートが必要な方の事例検討としてグループディスカッションを行いました。各グループで①基幹相談に関する事例、②グループホームに関する事例のうち1事例を選択し、支援の方向性や活用できる制度について活発な意見交換を実施しました。参加者同士が実践的な視点を共有し、今後の支援力向上に繋がる有意義な時間となりました。</p> <p>参加後のアンケートでは、「知識として知っていた情報について、具体的な内容まで理解を深めることができた」といった声が寄せられ、今後の地域連携強化への確かな手応えを感じる結果となっております。</p> <p>来年度も、地域ネットワークの維持・発展を見据え、連携強化に繋がる研修会を継続して開催していく予定です。引き続き、皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。</p>		
			